

笹子防災拠点地区地区計画決定理由書

本地区は、昭和 63 年まで木更津市じん芥処理場として市が運営しており、その後、昭和 63 年に本市のゴミ処理施設が移転したことにより、当該地の建築物は解体され、地元の災害用備蓄倉庫が建築されました。

木更津市基本構想において「公共施設については、将来の人口減少を見通すと、総量の縮減や再配置等を行う必要があります。そのため、効果的・効率的な施設の維持・管理等をめざし、公共施設マネジメントを計画的に推進します。」とし、公共施設再配置計画第 2 期実行プランにおいて「じん芥焼却場の倉庫については災害対策事業等への利活用を検討する」とし、木更津市第 3 次基本計画において「災害時における広域防災機能の強化」を図るとしている。

また、木更津市都市計画マスタープランに掲げた「市街化調整ゾーンの土地利用方針」の内「公共施設跡地利活用地区」においては、「公共施設跡地は、地域コミュニティ形成の拠点であることなどを考慮し、地域振興に寄与する施設の誘導を図ります。」としている。

これら上位計画に即し、本地区において地域防災力・災害対応能力の強化に加え、本市を中心とした広域防災機能の強化に寄与する施設の誘導を図るため、地区計画を決定するものです。